

一

- 問一
- ① 相称
 - ② 幾何学
 - ③ 荘重
 - ④ 静寂
 - ⑤ 覆

二

- 問二
- a (オ)
 - b (ア)
 - c (ア)
 - d (オ)
 - e (イ)
- 問三
- オ

比較をする際には比較するもの同士の場合(質、種類など)をある程度揃えなくては行けないが、この場合、日米で回答の性質が異なるため、比較はできないから。

【解答例】「実体の美」は客観的な原理に基づく秩序が美を生み出す、というもの等。「状況の美」は何が美であるかということよりも、むしろどのような場合に美が生まれるかということに感性を働かせたもの

問六

エ

問七

(日本人は、)美とは万古不易のものではなくうつろいやすいもの、はかないものという感覚を育てて来たため、季節ごとの美の鑑賞などはいっそう貴重で愛すべきものという感覚を持っているから。

問八

エ

二

- 問一
- a 画架
 - b 散見
 - c 概念
 - d 振幅
 - e 看破

問二

こういう言葉の意味を正確に定義する事は難しい。

問三

ア

問四

問五

エ

画面に物の量感を出す為(ために)に、様々な色調の調和とか対照とかに独特な工夫を凝らしているとか、実感として音楽家の使うmoduler(変調する)とかmodulation(変調)とかいう言葉が使いたくなる、という事と同じだということ。

問六

表現力の万能がはち切れて、従来の管弦楽の標題音楽的観念を突破し、舞台の上で形象化するに至る

問七

- A ウ
- B ウ

近代音楽の内部構造そのもの

三

- 問一
- ア
- 問二
- ① 継承
 - ② 敬称
 - ③ 警鐘

問三

- ① オ
- ② ア
- ③ イ
- ④ イ
- ⑤ カ
- ウ

問四

- ① ク
- b
- ② イ
- b
- ③ エ
- a
- ④ ケ
- b
- ⑤ ア
- a
- ⑥ コ
- コ
- b

問五

- 【誤っている語】
- 過乗
 - 周集
 - 巨否

- 【正しい漢字に直したもの】
- 過剰
 - 収集
 - 拒否

問六

- ① ウ
- ② オ
- ③ オ
- オ

受験番号

氏名